

所蔵品展 No.162

## 植木茂と下関市立美術館

Artisut Ueki Shigeru and Shimonoseki  
City Art Museum:  
Hidden Stories of its Architecture

会期: 9.5[火]~10.15[日]

休館日: 月曜日(祝日の9月18日、10月9日は開館)

開館時間: 9時30分~17時(入館は16時30分まで)

料金: 一般 210円(160円)、大学生 100円(80円)

※( )内は20名以上の団体料金。

※下関市と北九州市在住の65歳以上の方は半額免除。

※18歳以下、および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は、観覧料が免除されます。

※観覧料免除にはいずれも公的証明書が必要です。

※最新の情報は美術館HPをご確認ください。

美術館の建物に注目した所蔵品展を開催します。

- ▶ 特徴的な吹抜けの空間(光庭)誕生の舞台裏
- ▶ 入口までの長いスロープは何のため?
- ▶ エジプトの神殿や、ヨーロッパの修道院との関係とは?

…など、美術館の建物や、敷地内の修景デザインに込められた意図を紐解きます。



01

## 建築、 温故知新

建築、

今年、開館40周年を迎える下関市立美術館。このたびは美術作品ばかりでなく、美術館の「建物」に注目します。

下関市立美術館は、いわゆる有名建築家ではなく、市の職員によって設計されたことをご存じでしょうか。当時の建築図面や写真などの資料で、当初の構想から現在の姿になるまでの経緯や、建物に込められた意図を読み解いていきます。

02

## 彫刻家 植木茂

(1913-1984)

彫刻家

抽象彫刻のパイオニアとして知られた植木茂は、戦後間もない1947年から51年を、妻文子の出身地下関で過ごしました。下関時代には、下関市民館(当時)の外壁レリーフの制作や、下関美術家協会の設立メンバーに名を連ねるなどの足跡を残しています。その後大阪に拠点を移し、サントリーのウィスキー「ローヤル」のボトルデザイン原型など、商業デザインの仕事でも知られました。下関市立美術館の開館にあたり修景デザインの顧問を務めた植木の、自由でのびやかな彫刻作品およそ30点を、サントリーの宣伝部長を務めながら洋画家としても活躍した山崎隆夫など、同時代の芸術家たちの作品とともに紹介します。



出品予定作品:

(左から) 植木茂《モードス》1949年、《作品(祭)》1975年、《祈り》1964年、アトリエの植木茂(1950年半ばと推定)

## 03 藤田嗣治 素描特集

大正2年（1913年）に渡仏した画家、藤田嗣治（1886－1968）。日本画の墨や筆を使った独自の画風はパリで高く評価され、一躍時代の寵児となりました。貴重な1920～30年代の素描作品から、藤田が得意とした女性や猫、子どもを描いた約20点をご紹介します。

### 所蔵品展の 関連催事

#### ■ 美術館・建築さんぽ

- 日時 9月18日（月・祝）13時30分～（約1時間）  
内容 館内や敷地内を歩きながら、建物の魅力を発見するツアーです。  
ゲスト 藤永眞善美氏（元下関市職員、一級建築士）  
会場 美術館内および敷地内（雨天の場合、変更の可能性あり）  
※ 事前予約は不要です  
※ 参加は無料ですが、所蔵品展の観覧受付が必要です

#### ■ ギャラリー・トーク おさんぽバージョン

- 日時 10月7日（土）13時30分～（約1時間）  
会場 美術館内および敷地内（雨天の場合、変更の可能性あり）  
※ 事前予約は不要です  
※ 参加は無料ですが、所蔵品展の観覧受付が必要です

#### 関連催事の参加方法

当日開始時間までに所蔵品展の観覧受付を済ませ、美術館2階の所蔵品展展示室にお集まりください。

### 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・発熱のある方、咳・咽頭痛などの症状のある方は、入館をご遠慮ください。
- ・入館に際しては、手指の消毒、手洗い、他のお客様と距離を保つこと（2m程度）にご協力ください。
- ・作品、展示ケース、壁にさわらないでください。



作品、展示ケース、壁にさわらない



下関市立美術館  
Shimonoseki City Art Museum

（担当：渡邊）

〒752-0986 山口県下関市長府黒門東町1-1  
TEL. 083-245-4131 FAX. 083-245-6768  
E-Mail kibijuts@city.shimonoseki.yamagu  
HP <https://www.city.shimonoseki.lg.jp/site/art>

詳細はHPへ！

下関市立美術館